

# タテヤママスギが群生する原生林

タテヤママスギ 遺伝資源希少個体群保護林

## 設定目的

タテヤママスギは、富山県立山地域を中心とする山岳地帯に自生するスギで、同県の木（県木）でもあります。

葉の間隔が狭く雪が落ちやすい、寒さに強い、地面についた枝から根を出して個体（クローン）を増やすなど、様々な特徴があります。

樹齢三百年を超える巨木もあり、原生的な状態で群生するタテヤママスギの個体群の保護・管理をしています。

## 地況・林況

当保護林は、立山西麓の尾根上にある美女平周辺に位置しており、保護林周辺を含め、タテヤママスギのほかブナ、ホオノキ、ダケカンバ等が混交する天然林が広く分布しています。

シリーズ

中部の保護林(第31回)

所在地  
富山県・中新川郡 立山町



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



※詳細は、コードを読み込んでください。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612